

# AIエージェント導入ガイド

作業フォルダを作り、読ませる範囲を決め、最初の依頼文を貼るまで

読み終わったら、同じフォルダの「初心者向け説明書.html」または「初心者向け説明書.pdf」に戻ります。

## AIエージェントとは

この説明書でいうAIエージェントは、指定したフォルダ内のファイルを読み、説明、整理、下書き作成を手伝ってくれるAI環境のことです。

大事なのは、PC全体ではなく、こちらが選んだ作業フォルダだけを読ませることです。

- ファイルを読める
- 読ませる範囲を指定できる
- 編集や公開の前に確認できる

### A1. AIエージェントを選ぶ

PC内ファイルを読めるAI環境を用意します

#### チェックすること

OK

##### ファイルを読める

指定したフォルダやファイルを読み、要約や整理ができること。

OK

##### 範囲を指定できる

PC全体ではなく、作業フォルダだけを読ませられること。

OK

##### 確認して進められる

編集、削除、公開の前に人間確認を入れられること。

特定のサービス名よりも、「読める範囲を自分で決められるか」を先に確認します。

# 1. AIエージェント用作業フォルダを作る

デスクトップやドキュメントなど、自分が見つけやすい場所に「AIエージェント用作業フォルダ」を作ります。

このフォルダは、AIに見せてもよい材料だけを入れる作業机です。

- 名前は「AIエージェント用作業フォルダ」がおすすめ
- 試作品ZIPはここへ置く
- 秘密ファイルは入れない

## A2. 作業フォルダを作る

AIに見せる材料だけを1か所に集めます



### A2 見つけやすい場所に作る

デスクトップやドキュメントなど、自分が迷わず開ける場所に作ります。名前は「AIエージェント用作業フォルダ」がおすすめです。

## 2. AIに読ませる範囲を決める

AIエージェントの画面でフォルダを選ぶ場面があれば、作った作業フォルダだけを選びます。

PC全体やユーザーフォルダ全体を選ぶと、見せる必要のないファイルまで混ざりやすくなります。

- OK: AIエージェント用作業フォルダ
- OK: 展開した試作品フォルダ1つ
- NG: PC全体
- NG: 秘密ファイル入りフォルダ

### A3. 読ませる範囲を許可する

AIには作業フォルダだけを見せます

#### OK

- AIエージェント用作業フォルダ
- 試作品フォルダ1つ
- 練習用 test-run

#### NG

- PC全体
- ユーザーフォルダ全体
- 秘密ファイル入りフォルダ

最初の合言葉: まず読むだけ。編集や削除はしないでください。

### 3. 最初は読むだけで試す

準備できたら、最初は読むだけで動作確認します。

AIがREADMEを見つけて、次の1手を説明してくれたら準備完了です。

- READMEを探してもらう
- 次の1手だけ案内してもらう
- 編集、削除、公開、送信はまだ許可しない

#### A4. 最初の依頼文を貼る

AIエージェントが準備できたら、この文章から始めます

● ● ● AIエージェント

AIエージェント用作業フォルダを読んでください。  
まず中にある README.md を探し、初心者向けに次にやることを1つだけ案内してください。  
まだファイル編集、削除、外部送信、SNS投稿、公開、お金の判断はしないでください。

AIがREADMEの内容をもとに、次の1手だけ説明してくれたら準備完了です。

A4

まずは読むだけで試す

動作確認が終わるまで、編集や削除は許可しません。

## 最初に貼る依頼文

AIエージェント用作業フォルダ を読んでください。

まず中にある README.md を探し、初心者向けに次にやることを1つだけ案内してください。

まだファイル編集、削除、外部送信、SNS投稿、公開、お金の判断はしないでください。